

2020年3月17日

会員・医療関係者 各位

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対するシクレソニド吸入薬の適正使用について

日本小児科学会 予防接種・感染症対策委員会  
新興・再興感染症対策小委員会

吸入ステロイド薬であるシクレソニド（オルベスコ<sup>®</sup>）については、抗ウイルス活性を示唆する in vitro のデータが確認されています。またこの度、COVID-19 肺炎初期～中期にシクレソニド吸入を使用し重症化に至らず改善した成人の3例が報告されたことから<sup>1)</sup>、今後有効な治療法として確立されることが期待されています。その一方で、現時点では確立した治療法とは言えず、添付文書上は、治療法が存在しない感染症の患者へは症状の増悪の恐れがあるため禁忌となっています。しかも COVID-19 患者の中でも適応となる対象や投与方法なども現時点では明らかでありませんし、小児 COVID-19 症例への使用経験もありませんので、慎重な判断が必要な状況です。

1) 岩淵敬介、他:COVID-19 肺炎初期～中期にシクレソニド吸入を使用し改善した3例.  
[http://www.kansensho.or.jp/uploads/files/topics/2019ncov/covid19\\_casereport\\_200310.pdf](http://www.kansensho.or.jp/uploads/files/topics/2019ncov/covid19_casereport_200310.pdf) (2020年3月17日アクセス)

大変憂慮すべきことに、同薬の可能性が広く取り上げられたことにより、既に供給が不安定な状況に陥っています。その為、本来喘息に使用している患者に処方が出来なくなっています。

日本小児科学会としては、現時点において以下のように適正使用を推奨します。

- 従来本剤を使用している喘息患者への処方を最優先する
- 軽症および無症候性の COVID-19 確定例及び疑い例に対する投与は行わない
- COVID-19 肺炎症例であっても、基礎疾患がなく酸素投与の必要のない患児の予後は良く、投与は行わない
- 上記に当てはまらない、基礎疾患のある症例や酸素投与の必要のある肺炎小児例では投与が考慮される。しかし、シクレソニドを COVID-19 に対して使用するにあたっては各施設で倫理委員会の審査が必要であり、承認を得たうえでの使用となる
- COVID-19 患児にシクレソニドを使用する場合は、下記の「COVID-19 に対するシクレソニド（オルベスコ<sup>®</sup>）投与症例の観察研究」\*への参加をご検討ください。

会員の皆様におかれましては、正しい理解と使用法について周囲へのご指導をお願いいたします。

- \* 日本感染症学会では、厚生労働省と協議し、COVID-19 に対するシクレソニド（オルベスコ®）投与症例の観察研究を開始することとし、本観察研究に必要な十分量のシクレソニド（オルベスコ®）を確保しているとのことです。

日本感染症学会の会員で本観察研究に参画を希望される場合は、シクレソニド投与観察研究事務局（藤田医科大学：[covid-19@fujita-hu.ac.jp](mailto:covid-19@fujita-hu.ac.jp)）まで連絡すると、本観察研究への参加及び倫理的手続きに関する事項、ならびにシクレソニド（オルベスコ®）の医療機関への供給について、同事務局より連絡があるとのことです。